

科研費

申請書の 赤ペン添削 ハンドブック

第3版

CONTENTS

第3版のはじめに
初版のはじめに
本書の構成・利用法

1章 総論

▶ 申請書全体から受ける「わかりにくい」印象を改善するにはどうしたらよいか。
まずはそこから解説する。

| | | |
|---------------|------------------------------|-----|
| case01 | これで完成！？文章が下手で申請書の内容が頭に入っていない | 015 |
| case02 | 図がわかりにくい | 019 |
| case03 | 箇条書きが多すぎてわかりにくい | 023 |
| case04 | 概要と本文で研究項目の数が揃っていない | 029 |
| case05 | 概要と本文で研究目的が異なる | 033 |
| case06 | 美しくない申請書は読むのが苦痛 (1) | 037 |
| case07 | 美しくない申請書は読むのが苦痛 (2) | 041 |
| case08 | 一文が長くて読みにくい | 045 |
| case09 | 具体的に何を指しているかがわからない | 049 |
| case10 | 指示代名詞が何を指しているのかわかりにくい | 053 |
| case11 | 強調したい部分が目立たない | 057 |
| case12 | 簡潔に書かれすぎて内容がわかりにくい | 061 |
| case13 | キーワードの意味がわからない | 065 |
| case14 | 研究のキーワードが埋もれて重要度が伝わっていない (1) | 069 |

2章 研究目的、研究方法など：概要

▶ 2～9章では、申請書のコアとなる「1 研究目的、研究方法など」欄のブラッシュアップのポイントを解説する。2章の「概要」は審査委員が最初に読む大事な部分なのに、必要なことがきちんと書けていない人が多いので特に気をつけてほしい。

| | | |
|---------|--|-----|
| case 15 | 必要な内容が十分に書かれておらずわかりにくい (1) | 071 |
| case 16 | 概要とはいえ中身に乏しく具体的でない | 077 |
| case 17 | 「背景」の記述が十分でなく解決すべき課題 (学術的「問い」) をつかみにくい | 081 |
| case 18 | 「目的」と「背景」が分断されていてわかりにくい | 085 |
| case 19 | 唐突なはじまりで読みにくい | 089 |
| case 20 | 研究のキーワードが埋もれて重要度が伝わってこない (2) | 093 |
| case 21 | 概要には必要ないもの (1) | 097 |
| case 22 | 概要には必要ないもの (2) | 101 |
| case 23 | 「目的」が埋もれていて見つけにくい | 105 |
| case 24 | 科研費の目的としてふさわしいか (1) | 109 |

3章 研究目的、研究方法など：背景

▶ 「本研究の学術的背景」の書き方のポイントを解説する。「一般的な背景」「申請者のこれまでの研究成果」がはっきりとわかるように区別して書こう。

| | | |
|---------|---|-----|
| case 25 | 「(1) 本研究の学術的背景」の解説が長すぎてわかりにくい | 113 |
| case 26 | 「(1) 本研究の学術的背景～学術的「問い」」に一般的な情報がなくわかりにくい | 117 |
| case 27 | 研究遂行能力が十分にアピールされていない | 121 |
| case 28 | 「目的」「背景」が混在していてわかりにくい | 125 |

4章 研究目的、研究方法など：問い

▶ 「研究課題の核心をなす学術的「問い」」の書き方のポイントを解説する。「学術的「問い」」≡「解決すべき研究課題」が「学術的背景」のなかに埋もれないように、別項目に分けてはっきりと示そう。

| | | |
|---------|--------------------|-----|
| case 29 | 「問い」がどこにあるのかわかりにくい | 131 |
| case 30 | 「問い」が長すぎる | 135 |

5章 研究目的、研究方法など：本研究の目的

▶ 研究を行ううえで最も重要な「目的」をアピールするところ。最初の数行で「目的」を簡潔に示す、「科研費」にふさわしい「研究目的」をまとめる、「目的」と「目標」を混同しないなどのポイントがある。

| | |
|-------------------------------------|-----|
| case 31 「本研究の目的」がわかりにくい | 139 |
| case 32 「検証する」「開発する」だけでは研究目的としては不十分 | 145 |
| case 33 科研費の目的としてふさわしいか (2) | 149 |
| case 34 「目的」なのか「目標」なのか、わからない | 153 |

6章 研究目的、研究方法など：独自性、創造性

▶ 「学術的独自性と創造性」の書き方のポイントを解説する。研究のユニークな点、オリジナルな点を、具体的に書くことでアピールしよう。

| | |
|--|-----|
| case 35 「(2) 本研究の目的および学術的独自性と創造性」がわかりにくい | 157 |
| case 36 この研究ならではの独自性や創造性がわかりにくい | 161 |
| case 37 表現が控えめすぎて実現できるのか不安 | 165 |
| case 38 「学術的独自性と創造性」としてふさわしいか | 169 |
| case 39 自ら「独自性・創造性がある」といっても説得力がない | 173 |

7章 研究目的、研究方法など：着想に至った経緯など

▶ 「本研究の着想に至った経緯」や「国内外の研究動向」の書き方のポイントを解説する。申請者ならではのオリジナルな経験から得た着想であることをアピールして、研究の重要性や意義を示そう。

| | |
|--|-----|
| case 40 「本研究の着想に至った経緯」にオリジナリティがない | 177 |
| case 41 「本研究の着想に至った経緯」が平凡すぎる | 181 |
| case 42 「関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ」が具体的でない | 185 |
| case 43 「国内外の研究動向」と「背景」との違いがわかりにくい | 189 |

8章 研究目的、研究方法など：何をどのように

▶「本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか」の書き方のポイントを解説する。研究計画の詳細を具体的に示すだけでなく、冒頭に研究目的や研究計画の概略をくり返すことで、審査委員に読みやすくしよう。うまくいかなかったときの対応もきちんと書くことで実現可能性がアピールできる。

| | | |
|---------|---------------------------------|-----|
| case 44 | 研究項目が多すぎて何をしたいかが散漫に見える | 193 |
| case 45 | 必要な内容が十分に書かれておらずわかりにくい (2) | 197 |
| case 46 | 方法論は具体的なのにわかりにくい | 201 |
| case 47 | 研究計画の内容が少なすぎる | 205 |
| case 48 | 年度ごとの研究計画の詳細しか書かれていない | 209 |
| case 49 | 研究項目ごとに計画の詳細しか書かれていない | 213 |
| case 50 | 研究方法が具体的に何を指しているかがわからない (理系の例) | 217 |
| case 51 | 研究方法が具体的に何を指しているかがわからない (文系の例) | 221 |
| case 52 | アンケート調査やプログラム作成の内容がないのでイメージできない | 225 |
| case 53 | データ分析の種類だけで内容がないのでイメージできない | 233 |
| case 54 | 論文発表・学会発表・本の刊行は研究計画や方法としてふさわしいか | 237 |
| case 55 | たくさんの項目を文章だけで説明しようとしていてわかりにくい | 241 |
| case 56 | この研究ならではの特色がわかりにくい | 245 |
| case 57 | 研究項目ごとの「予想される結果と意義」がなく意図がつかみにくい | 249 |
| case 58 | 締めめの言葉がなく完結した感じがしない | 253 |
| case 59 | 前欄に戻らないと記号や略語の意味を確認できない | 257 |
| case 60 | 計画通りに進まないときの対応を考えていない印象を受ける | 261 |
| case 61 | 誰に相談するかがあいまい | 265 |

9章 研究目的、研究方法など：準備状況

▶「本研究の目的を達成するための準備状況」の書き方のポイントを解説する。「採択されてから○○をはじめる」という書き方はよくない。現在の準備状況を具体的に書こう。

| | | |
|---------|------------------------------------|-----|
| case 62 | 「本研究の目的を達成するための準備状況」で独りよがりな表現が目につく | 269 |
| case 63 | これから準備するのでは不十分 | 273 |

10章 応募者の研究遂行能力及び研究環境

- ▶ 論文や学会発表をリストにするだけではダメ。
研究の実現可能性を示すポイントを解説する。

| | | |
|--------|----------------------------------|-----|
| case64 | 「(1) これまでの研究活動」に論文のリストしか載せていない | 277 |
| case65 | 「(1) これまでの研究活動」に載せた学会発表の情報が不十分 | 281 |
| case66 | 「(1) これまでの研究活動」に申請書の研究テーマとの関連がない | 285 |
| case67 | 「(2) 研究環境」の書き方が主観的で、具体性が不十分 (1) | 289 |
| case68 | 「(2) 研究環境」の書き方が主観的で、具体性が不十分 (2) | 293 |

11章 人権の保護及び法令等の遵守への対応

- ▶ 加点はないが減点がある欄なので気をつけよう。

| | | |
|--------|----------------------------------|-----|
| case69 | 「人権の保護及び法令等の遵守への対応」が中身に乏しく具体的でない | 297 |
|--------|----------------------------------|-----|

12章 その他（研究経費や図など）

- ▶ 加点はないが減点はある欄のポイントや、どの欄でも当てはまる注意事項を解説する。特に後者に関するアドバイスは、審査委員のことをよく考えた申請書にするためのテクニックになりえる。

| | | |
|--------|--------------------------------|-----|
| case70 | 「研究経費とその必要性」に必要性が書かれていない | 301 |
| case71 | なぜ海外調査が必要なのかがあいまい | 305 |
| case72 | 強調スタイルがいくつもありどこが重要かわからない | 307 |
| case73 | 図や画像が何を示しているのかわからない | 309 |
| case74 | 写真が不明瞭で意図がよくわからない | 313 |
| case75 | 図表の文字が小さくて読みにくい | 315 |
| case76 | 論文から流用された図は申請書ではわかりにくい | 319 |
| case77 | 回りくどい表現、なくてもよい表現がある | 323 |
| case78 | 主観的な表現、刺激する表現が目につく | 327 |
| case79 | 略語の種類が多すぎて把握できない | 331 |
| case80 | なぜ最新あるいは流行の機器を使うかがあいまい | 335 |
| case81 | 時事問題への配慮が足りない | 339 |
| case82 | 表記が異なっており同じものを指すか違うものを指すかがあいまい | 341 |

| | |
|---------------------------------------|-----|
| case83 「関連性」「関係」をもつのは何かがあいまい | 343 |
| case84 「AとBを用いて、CとDを行う」はわかりにくい | 345 |
| case85 雑なレイアウトで整った感じがしない | 349 |
| case86 不適切な接続詞を使っている | 353 |
| 補遺1：申請者のための「申請書を書く、添削する」基本 | 356 |
| 補遺2：研究支援者の申請書チェックの心構え | 361 |
| 付録1：セルフチェックリスト | 363 |
| 付録2：研究支援者のためのチェックリスト | 367 |
| 付録3：実際の申請書の添削例 | 370 |
| 付録4：申請分野別関連case早引きリスト | 372 |
| 付録5：インデックス別アドバイス一覧 | 374 |
| 索引 | 383 |

申請者のギモン

| | | | |
|-------------------|-----|--------------------------|-----|
| 1 昨年度とほぼ同じ申請書 | 018 | 17 図の解像度 | 212 |
| 2 フォント | 026 | 18 タイトル風 | 216 |
| 3 ひらがなと漢字 | 048 | 19 フォントの大きさ | 232 |
| 4 長い語句 | 056 | 20 (続) フォントの大きさ | 236 |
| 5 外来語 | 060 | 21 見出しの工夫 | 240 |
| 6 慣用句や決まりきった言い回し | 068 | 22 図の情報の向き | 260 |
| 7 模式図か計画表か | 076 | 23 雇うという記述 | 272 |
| 8 リバイス中, in press | 130 | 24 学会参加 | 284 |
| 9 図の配置 その1 | 144 | 25 強調 その1 | 288 |
| 10 図の配置 その2 | 152 | 26 強調 その2 | 292 |
| 11 わかりやすい図に その1 | 160 | 27 強調 その3 | 296 |
| 12 わかりやすい図に その2 | 180 | 28 強調 その4 | 300 |
| 13 わかりやすい図に その3 | 184 | 29 スペースがないとき | 304 |
| 14 わかりやすい図に その4 | 188 | 30 字下げ | 322 |
| 15 行間 | 200 | 31 「しかし」か? 「しかしながら」か?... | 338 |
| 16 (続) 行間 | 204 | | |